

平成 25 年度事業報告

◇ 平成 25 年度 支部・登録チーム数

支部数 47、末端支部数 920

- ・一般(社会人)…33,341 チーム
- ・少年部(中学生)…8,278 チーム
- ・学童部(小学生)…13,291 チーム

}

54,910 チーム

加盟団体 4

- ・大学協会 496 校
- ・専門学校 166 校
- ・還暦連盟 458 チーム
- ・中体連 ※少年部登録数に含む

支 部	一 般	少 年		計
		少年部	学童部	
北海道	1,748	496	858	3,102
青 森	173	139	250	562
岩 手	423	159	228	810
宮 城	346	182	315	843
秋 田	303	44	193	540
山 形	105	95	150	350
福 島	512	322	76	910
茨 城	430	227	261	918
栃 木	1,313	154	333	1,800
群 馬	1,005	176	273	1,454
埼 玉	801	404	706	1,911
千 葉	1,019	421	567	2,007
東 京	3,670	930	1,168	5,768
神奈川	2,110	443	857	3,410
山 梨	170	93	127	390
新 潟	376	224	299	899
長 野	855	152	204	1,211
富 山	410	80	157	647
石 川	206	84	145	435
福 井	198	64	118	380
静 岡	1,001	236	289	1,526
愛 知	3,005	340	760	4,105
三 重	346	150	169	665
岐 阜	1,183	218	487	1,888

支 部	一 般	少 年		計
		少年部	学童部	
滋 賀	195	106	228	529
京 都	714	45	287	1,046
大 阪	3,000	38	377	3,415
兵 庫	1,509	345	432	2,286
奈 良	261	93	160	514
和 歌 山	134	101	273	508
鳥 取	195	60	150	405
島 根	157	67	116	340
岡 山	295	79	133	507
広 島	901	70	159	1,130
山 口	462	21	150	633
香 川	241	65	104	410
徳 島	151	64	122	337
愛 媛	315	113	63	491
高 知	240	80	88	408
福 岡	677	228	317	1,222
佐 賀	259	82	149	490
長 崎	156	131	62	349
熊 本	318	161	197	676
大 分	310	113	220	643
宮 崎	202	112	138	452
鹿 児 島	381	165	96	642
沖 縄	560	106	280	946
合 計	33,341	8,278	13,291	54,910
前年比	-1,508	101	-623	-2,030

I. (公1) 軟式野球大会開催事業

ア. 軟式野球大会開催事業

1. 各種軟式野球大会の開催

下表のとおり、事業を終了した。

大会名	会期	会場	参加 チーム数	優勝
天皇賜杯第 68 回 全日本軟式野球大会	9月13日(金) ～18日(水)	出雲市他	57	千葉県・株式会社京葉銀行
高松宮賜杯第 57 回 全日本軟式野球大会	1部 10月11日(金) ～14日(月)	大分市他	32	群馬県・関東西濃運輸
	2部 9月27日(金) ～30日(月)	高岡市他	32	茨城県・長寿館
高円宮賜杯第 33 回 全日本学童軟式野球大会 マクドナルド・トーナメント	8月6日(火) ～12日(月)	新宿区他	51	兵庫県・曽根青龍野球部
第 30 回記念全日本少年軟式野球大会	8月12日(月) ～15日(木)	横浜スタジアム	18	大分県・高田中クラブ
文部科学大臣杯第 4 回 全日本少年春季軟式野球大会	3月22日(金) ～25日(月)	静岡市他	32	高知県・高知中学校
第 68 回国民体育大会 (スポーツ祭東京 2013)	成年男子 10月4日(金) ～7日(月)	昭島市他	32	大阪府・大阪市信用金庫
第 35 回 東日本軟式野球大会	1部 5月24日(金) ～27日(月)	海老名市他	29	埼玉県・川口信用金庫
	2部 6月7日(金) ～10日(月)	水戸市他	28	栃木県・柔武館
第 35 回 西日本軟式野球大会	1部 5月10日(金) ～13日(月)	鳴門市他	26	京都府・紅 B B C
	2部 6月28日(金) ～7月1日(月)	佐世保市他	26	宮崎県・J A 共済連宮崎
水戸市長旗 第 21 回東日本軟式野球選手権大会	11月1日(金) ～5日(火)	水戸市他	28	茨城県・株式会社常陽銀行
第 17 回 西日本軟式野球選手権大会	10月18日(金) ～21日(月)	大阪市他	27	大阪府・大阪市信用金庫
第 58 回 中部日本都市対抗軟式野球大会	11月8日(金) ～11日(月)	田原市他	13	愛知県・株式会社ニッセイ
日本スポーツマスターズ 2013	9月14日(土) ～17日(火)	北九州市	32	愛知県・安城ベースボールクラブ
NPB ガールズトーナメント 2013	8月17日(土) ～21日(水)	昭島市他	30	愛知県・オール愛知カールズ
第 35 回 全国中学校軟式野球大会	8月17日(土) ～20日(火)	豊橋市他	25	鹿児島県・西之表市立種子島中学校
第 35 回 全国スポーツ少年団軟式野球交流大会	8月2日(金) ～5日(月)	札幌市	16	兵庫県・広畑ソフトボール少年団

国体総合成績（天皇杯得点）

1位	大阪府	74点	5位	東京都	42点
2位	長崎県	66点	6位	石川県	34点
3位	宮崎県	58点	7位	岐阜県	26点
4位	奈良県	50点	8位	富山県	18点

2. 寄付金関係

以下のとおり、各団体、企業より寄付を受けた。

- | | |
|---------------------|-------------|
| (1) (公財)日本高野連・朝日新聞社 | 1,000,000 円 |
| (2) (公財)日本高野連・毎日新聞社 | 1,000,000 円 |
| (3) 株式会社 エス・エス・ケイ | 1,500,000 円 |
| (4) ヤング(株) | 400,000 円 |
| (5) 株式会社共同写真企画 | 1,000,000 円 |
| (6) ナガセケンコー(株) | 200,000 円 |

3. 助成金関係

以下のとおり、各団体より助成金の交付を受けた。

- | | | |
|------------------------|-------------|-----------------|
| (1) 国体派遣役員旅費 | 1,289,680 円 | 日体協 |
| (2) 選手強化事業交付金（平成24年度分） | 500,000 円 | JOC |
| (3) 少年野球振興事業助成 | 1,000,000 円 | (公財)ミズノスポーツ振興財団 |
| (4) スポーツ普及奨励助成事業 | 700,000 円 | (公財)スポーツ安全協会 |
| (5) スポーツ振興くじ助成 | 4,024,000 円 | (独)日本スポーツ振興センター |
- (平成24年度西日本選手権大会助成事業及びトビーンが検査事業分)

4. 協賛金関係

以下のとおり、各団体、企業より協賛を受けた。（金額は税込表示）

- (1) 日本マクドナルド(株)より全日本学童大会の全国大会、支部大会、マクドナルドカップ大会を実施した支部、ブロックへの助成金として、総額 52,500,000 円の協賛を受けた。
- (2) 全国労働金庫協会より「ろうきん杯」実施支部への助成金として、総額 1,984,500 円の協賛を受けた。
- (3) 全日本学童大会に対し、全国新聞社事業協議会より 2,000,000 円、東京新聞より 1,000,000 円の協賛を受けた。
- (4) ミズノ(株)より全軟連に 500,000 円の協賛を受けた。

- (5) ㈱アシックスジャパンより全軟連に 500,000 円の協賛を受けた。
- (6) (一社) 日本野球機構より「NPB12 球団ジュニアトーナメント」への協力に対し 525,000 円、「ガールズトーナメント 2013」のへの協力に対し 3,601,740 円の協賛を受けた。
- (7) スポーツニッポン新聞社より全日本少年春季大会へ 2,100,000 円の協賛を受けた。
- (8) 横浜市より全日本少年大会に助成を受けた。

5. 協賛金交付

- (1) 47 支部に対し、マクドナルド協賛金を総額 14,264,700 円交付した。
- (2) マクドナルド・カップ大会を実施した 25 支部に対し、総額 2,500,000 円を交付した。
- (3) ろうきん杯を実施した 6 支部に対し、総額 1,860,000 円を交付した。

6. ドーピング検査の実施

第 68 回国民体育大会、天皇賜杯第 68 回大会及び第 17 回西日本選手権大会にて競技会検査を実施した。

国体では、2 チームより 2 検体ずつ計 4 検体の検査を実施し、すべて陰性であった。

国体全競技では、競技会検査 (215 検体・24 競技) が実施され、すべて陰性であった。

天皇賜杯では、4 チームより 2 検体ずつ計 8 検体の検査を実施し、全て陰性であった。

また、西日本選手権大会では、2 チームより 2 検体ずつ計 4 検体の検査を実施し、すべて陰性であった。

さらに、教育啓発活動として、第 30 回記念全日本少年大会にてアウトリーチプログラムを実施し、指導者、参加選手、父兄等、約 300 名に対する指導を行った。

※競技会検査：大会会期中に実施する検査

アウトリーチプログラム：(公財)日本アンチ・ドーピング機構が実施するドーピング防止教育啓発活動

7. メディカルサポートの実施

高円宮賜杯第 33 回全日本学童軟式野球大会準々決勝進出 8 チーム、準決勝進出 4 チームに対して理学療法士延べ 16 名、及び第 30 回記念全日本少年軟式野球大会の準々決勝進出 8 チームに対し理学療法士 6 名をそれぞれ派遣し、試合後、選手へのクールダウンの指導、投手へのアイシングの指導などのメディカルサポートを実施した。

イ. 審判員等養成事業

1. 全国技術指導員研修会及び全国技術研修員講習会の実施

下表のとおり、事業を実施した。

名 称	期 日	場 所	参 加 者		修了者
北海道・東北地区 技術指導員研修会	3月2日(土)～2日間	宮城県・仙台市	審判技術指導員	20名	
関東地区 技術指導員研修会	3月2日(土)～2日間	埼玉県・さいたま市	審判技術指導員	26名	
北信越・東海地区 技術指導員研修会	3月2日(土)～2日間	愛知県・名古屋市	審判技術指導員	31名	
近畿・中国・四国・九州地区 技術指導員研修会	3月2日(土)～2日間	愛媛県・松山市	審判技術指導員	63名	
技術研修員講習会	2月22日(金)～3日間	埼玉県・さいたま市、川口市	審判技術研修員	33名	13名

2. ブロック審判講習会の実施

下表のとおり事業を実施した。

ブロック	会期	会場	受講者
北海道	5月17日～3日間	北海道・滝川市	23名
東北	3月15日～3日間	福島県・福島市	35名
関東	3月15日～3日間	群馬県・前橋市	42名
北信越	10月18日～3日間	富山県・魚津市	34名
東海	11月16日～3日間	岐阜県・大垣市	25名
近畿	11月15日～3日間	和歌山県・紀ノ川市	44名
中国	3月22日～3日間	岡山県・倉敷市	42名
四国	10月11日～3日間	愛媛県・四国中央市	18名
九州	3月15日～3日間	熊本県・熊本市	16名
指導員研修員数	北海道、栃木、東京、神奈川、愛知、大阪、兵庫各5名(一般登録2千以上) 茨城、群馬、埼玉、千葉、長野、静岡、岐阜、広島各4名(一般登録1千以上) 他各3名		

ウ. 公式軟式野球規則制定・頒布及び公認野球規則頒布事業

1. 競技者必携

6支部に、110部を有償頒布した。

2. 公認野球規則

支部、その他に53,674部を有償、無償で18部を頒布した。

II. (公2) 軟式野球競技を普及するための助成及び広報事業

ア. 各種軟式野球大会普及促進助成事業

1. 関係団体助成金

軟式野球競技普及に対する助成金として各団体に対し総額 3,700,000 円を交付した。

全日本大学軟式野球協会	1,000,000 円
公益財団法人日本高等学校野球連盟	1,000,000 円
全国高等学校定時制通信制軟式野球連盟	500,000 円
全日本ろう社会人野球連盟	200,000 円
全国官公庁野球連盟	100,000 円
全日本女子軟式野球連盟	100,000 円
全国専門学校野球連盟	250,000 円
全日本還暦野球連盟	250,000 円
アオダモ資源育成の会他	300,000 円

2. 各種全国大会等後援関係

軟式野球の全国的な組織を主催者とする団体等に対し、以下の 27 事業を後援した。

- (1) 全日本大学準硬式野球選手権大会、全日本大学選抜準硬式野球大会、全日本大学 9 ブロック対抗準硬式野球大会
- (2) 全国専門学校軟式野球選手権大会
- (3) 全国高等学校軟式野球選手権大会
- (4) 全日本ろう社会人軟式野球選手権大会
- (5) 全国高等学校定時制通信制軟式野球大会
- (6) (公社)少年軟式野球国際交流協会 世界大会、全国中学生軟式野球大会
- (7) 全日本大学女子野球選手権大会
- (8) 全日本女子軟式野球選手権大会、全日本女子軟式野球学生選手権大会
- (9) 全国青年大会
- (10) 全日本古希軟式野球大会
- (11) 全日本シニア軟式野球選手権大会
- (12) 全日本実業団野球全国大会
- (13) 全日本選抜還暦軟式野球大会、全日本還暦軟式野球選手権大会
- (14) (財)世界少年野球推進財団 世界少年野球大会
- (15) 高野山旗学童軟式野球選手権大会
- (16) 毎日新聞社 くりくり少年野球選手権大会
- (17) 全日本トススペースボール大会
- (18) 全国官公庁野球大会

- (19) 全国中学生 KB 野球選手権大会、全国女子 KB 野球選手権大会、
全国中学生 KB 秋季大会
- (20) 水戸市長旗東日本少年軟式野球大会
- (21) ダイワハウス全国少年少女野球教室
- (22) マルハンドリームカップ全国ベースボールトーナメント
- (23) 全国ガス野球大会
- (24) Winwin 水素水ドリームカップ全国ベースボールトーナメント
- (25) ポップアスリートカップ学童軟式野球全国大会
- (26) エバーライフ・皇潤/WCBF 少年野球教室
- (27) 大鳴門橋学童軟式野球大会

イ. スポーツ指導者養成事業

1. 日本体育協会公認コーチ養成軟式野球専門科目講習会

11月2日(土)~11月6日(水)の5日間の日程により、静岡県伊豆市にて受講生17名を集め、実施し、無事に全日程を終了した。

2. 助成金

日体協より、スポーツ指導者養成事業交付金(H24年度分)として133,500円、公認コーチ養成専門科目講習会委託金(H24年度残額分)72,810円の助成を受けた。

3. 成長期のスポーツ障害予防・指導者講習会

成長期のスポーツ障害予防・指導者講習会として、チーム指導者及び連盟役員に対し下表のとおり実施した。

ブロック	開催地	日程	会場
北海道	札幌	2月3日(日)	札幌市中島体育センター
東北	仙台	2月10日(日)	宮城自治労会館
関東	宇都宮	3月3日(日)	宇都宮市東生涯研修センター
北信越	長野・塩尻	3月24日(日)	塩尻総合文化センター
東海	名古屋	2月10日(日)	愛知県スポーツ会館
近畿	奈良・大和高田	2月16日(土)	奈良県産業会館
近畿	大阪	3月31日(日)	大阪市立港区民ホール
四国	徳島・鳴門	2月24日(日)	鳴門・大塚スポーツパーク アミノバリューホール
中国	広島	2月2日(土)	広島県立体育館
九州	久留米	2月16日(土)	福岡県立久留米体育館
九州	宮崎	1月20日(日)	宮崎県武道館大会議室(県総合運動公園内)

ウ. 広報活動事業

1. 連盟ホームページの活用

各加盟団体とシステム上でリンクできる形に変更したホームページ上で 1 支部がリンクを完了した。例年に引き続き、各種全国大会において試合速報を配信して、迅速な対応を図った。

2. 学童・少年向け広報誌の発行

ベネッセ・コーポレーションの協力を得て、学童向けの広報誌を 1 回発行、各都道府県支部の協力のもと、学童登録チームへ配布を行った。

Ⅲ. (収 1) 野球用具検定事業

1. 用具公認社の新規公認について

美津和タイガー株式会社（ヘルメット、マスク、プロテクター・レガース）を新規に公認社として承認し、契約を締結した。

2. 公認用具の普及

全国高等学校軟式野球選手権大会へ使用球 10 ダースを提供した。

Ⅳ. (収 2) 不動産賃貸事業

軟式野球会館の軟式野球会館の 1 階、2 階、5 階スペースを賃貸。
賃貸料収入 17,787,144 円

Ⅴ. (収 3) 物品販売事業

役員帽子、ベルト、ワッペン等の制定物品を販売。
制定物品販売高収入 7,049,585 円

VI. その他連盟が推進する事業・活動

1. 職業野球退団者の本連盟復帰者

8支部より8名の申請があり、資格審査の結果全員復帰を認めた。平成25年12月末までの復帰者総計495名。(40歳以上も含む)

No.	支部	氏名	最終球団
489	高知	吉川 昌宏	東京ヤクルトスワローズ
490	東京	靱山 幸徳	読売ジャイアンツ
491	茨城	森田 丈武	東北楽天ゴールデンイーグルス
492	兵庫	川越 透	福岡ダイエーホークス
493	沖縄	大城 祐二	福岡ソフトバンクホークス
494	千葉	本間 満	福岡ソフトバンクホークス
495	新潟	横山 龍之介	阪神タイガース
496	神奈川	鈴江 彬	千葉ロッテマリーンズ

2. 表彰関係

(1) 表彰委員会規程による表彰

25年度の功労者(15名)の皆様を本評議員会の席上にて表彰する。

ブロック	人員	受賞者名
北海道	1	渡部 弘道(北海道)
東北	2	天野 武忠(青森)・伊藤 幸男(山形)
関東	2	高橋 武正(埼玉)・石井 進(千葉)
北信越	2	山内 春夫(新潟)・石澤 義文(富山)
東海	2	東 勲(静岡)・藤本 正(岐阜)
近畿	2	上野 和重(京都)・前田 勝弘(奈良)
中国	1	寺垣 裕(鳥取)
四国	1	尾崎 猛(香川)
九州	2	田中 均(福岡)・栗山 寛(宮崎)
計	15	

(2) 読売新聞社主催 平成25年度第63回日本スポーツ賞

競技団体別最優秀賞 …………… 株式会社京葉銀行(千葉県)

(3) 旭日小綬章 …………… 大森 一人 会長

(4) 旭日双光章 …………… 坂野 功 常務理事

3. 開発途上国への軟式野球用具の寄贈について

各支部の協力により集まった用具を主に JICA 国際協力機構「世界の笑顔のために」プログラムへ参加する形で、ボール、バット、グラブ、ミット、キャッチャー用具、ヘルメット、ユニフォームを寄贈した。寄贈国は、フィリピン、ウガンダ、カメルーン、ケニア、パプアニューギニア、エクアドル、エルサルバドル、グアテマラ、コスタリカ、ドミニカ共和国、ニカラグア、ベリーズ、ペルー、ホンジュラスの 14 カ国とした。平成 25 年度は、アジア地域への送付が少なかったため、全日本野球協会と協力し対応していくこととする。

また、2020 年東京オリンピック開催決定を機に、野球を含む青年海外協力隊スポーツ隊員の派遣増が決定しているため、野球競技の普及および軟式野球の PR を目的に JICA とも情報共有し、野球途上国へ引き続き用具支援していくこととする。